

Wir ♥ Lebensmittel.

EDEKAサプライチェーンでの 責任ある水利用管理 (ウォーター・スチュワードシップ)

Webinar with WWF Japan

Online | 22.03.2024 | EDEKA ZENTRALE Stiftung & Co. KG | André Böckler / Project Lead Freshwater





サステナビリティは、もはや枝葉の問題ではなく、21世紀の課題である。



収穫はあと60回しかできない？

窒素肥料過多、浸食、炭素不足：世界の農業土壌の状況は壊滅的だ

nature

Explore content ▾ About the journal ▾ Publish with us ▾ Subscribe

nature > news > article

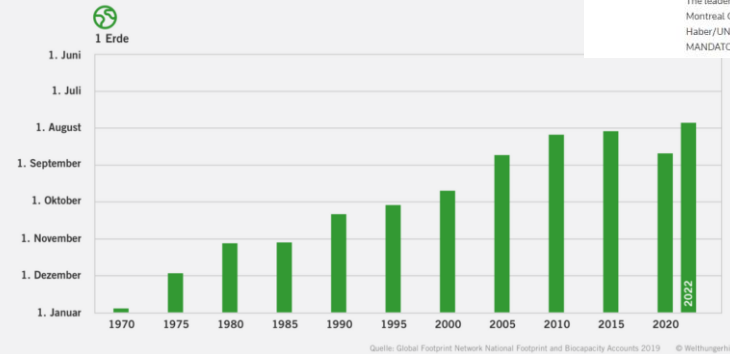
NEWS | 06 May 2019 | Update 06 May 2019

Humans are driving one million species to extinction

Landmark United Nations-backed report finds that agriculture is one of the biggest threats to Earth's ecosystems.

EARTH OVERSHOOT DAY 1970 – 2022

Wann sind die Ressourcen, die für ein Jahr zur Verfügung stehen, verbraucht?



8 minute read · December 21, 2022 4:07 PM GMT+1 · Last Updated a month ago

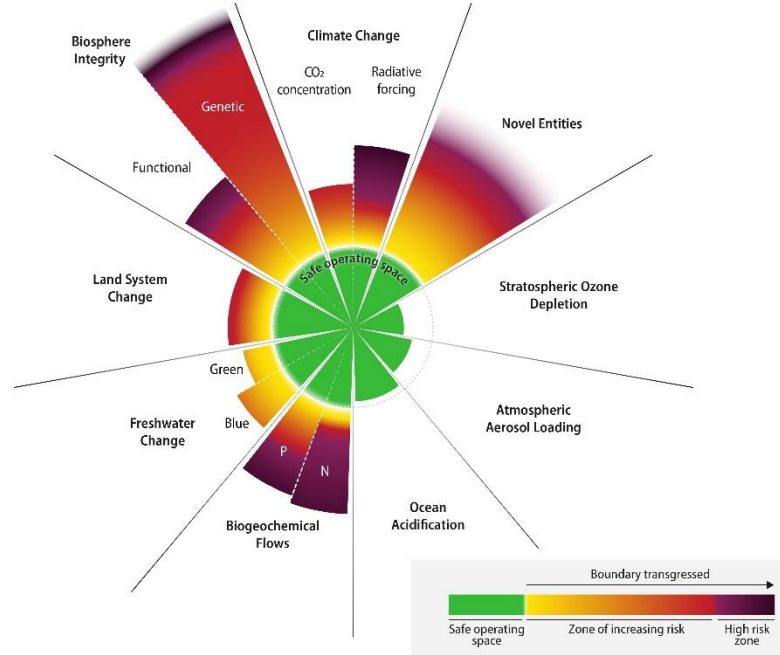
How business helped drive 'historic' agreement for nature at COP15

By Mark Hillsdon



The leadership of the U.N.-backed COP15 biodiversity conference applaud after passing the The Kunming-Montreal Global Biodiversity Framework in Montreal, Quebec, Canada December 19, 2022. Julian Haber/UN Biodiversity/Handout via REUTERS THIS IMAGE HAS BEEN SUPPLIED BY A THIRD PARTY. MANDATORY CREDIT

プラネタリー・バウンダリー(地球の限界)以内での操業： 食品セクターは重要な役割を果たす



- プラネタリー・バウンダリーは、地球の生態学的な限界を指し、それを超えると、地球の生態系の安定や地球の回復力が脅かされる。
- 6つの境界線が既に重なっている: 生物多様性、気候変動、淡水の消費、土地利用の変化、生物地球科学的循環(リン、窒素)
- 科学によって、食品セクターの体系的な転換が求められている。

Prof. Dr. Maja Göpel: "生態系が再生する過程で変化することの不可逆性は、まだ理解されていない。(中略)私たちは、人類と次世代のための生活を完全に変えてしまったのだ。"



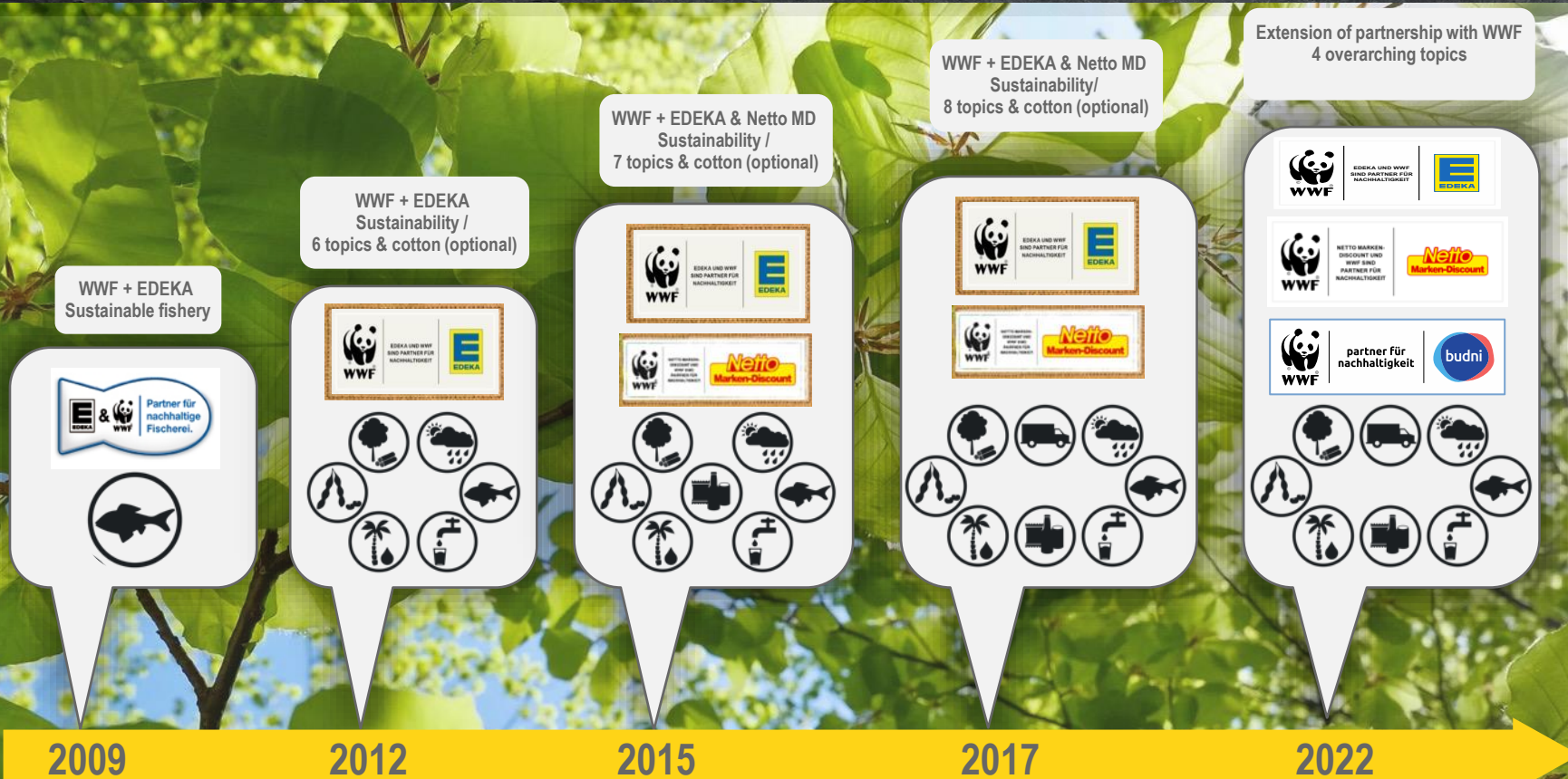
EDEKA : 企業紹介



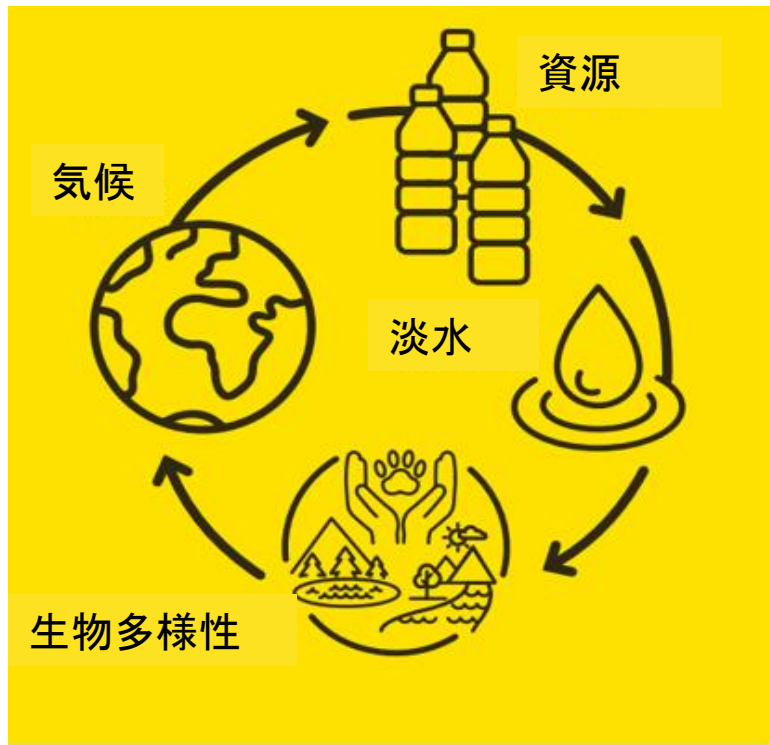
» 私たちは起業家のように考えています。既存の経済システムにおいて、私たちほど協力体制を持ち、常に自己改革し、挑戦する組織は他にないでしょう。«

Markus Mosa CEO EDEKA

EDEKAのサステナビリティの取組みは、2009年から大きく発展



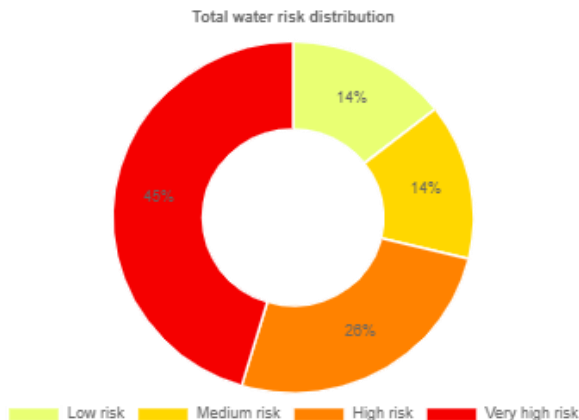
WWFとの強固なパートナーシップでは、相互に関連する4分野にフォーカス



- WWFとのパートナーシップを10年間延長 (2032年まで)
- 目標: サプライチェーンと将来のビジネスモデルを確保するため、プラネタリー・バウンダリーの範囲内で操業する
- 科学的根拠に基づく
- EDEKAは、世界で最も深刻な状況にある生産地を特定するため、ホットスポット分析を実施



- EDEKAの取扱う果物・野菜サプライヤーのうち、70%以上が水リスクの高い流域に所在
- EDEKA水リスク・ツールに、900+のサプライヤー、19,000+の農園を登録
- 特定した水リスク: 物理リスク、評判リスク、規制リスク
- 2016年～、Alliance for Water Stewardship (AWS)の支援企業
- 2025年までのAWS淡水プロジェクトにおけるEDEKAの優先地域:
 - 南欧 (スペイン、イタリア)
 - ラテンアメリカ (チリ、ペルー)
 - アフリカ南部
 - アジア (インド)



ALLIANCE FOR
WATER STEWARDSHIP



EDEKAは、4つの農業プロジェクトを実施中 WWFとのパートナーシップは内3つ

バナナ・プロジェクト

4.000 ha, 21 生産者
全体的な取組み
コロンビア、エクアドル、コスタリカ、グアテマラ(新規)、パナマ(新規)



柑橘類プロジェクト

1.500 ha, 26 生産者
全体的な取組み
スペイン: 3地域にフォーカス



LfA program

(生物多様性のための
農業プログラム)

53.342 ha, 214 有機栽培地
生物多様性にフォーカス
ドイツ
100種のプライベートラベル付
商品



CFF initiative

(未来のためのカカオ
イニシアティブ)

~ 2.818 ha, 1.000 生産者
全体的な取組み
ガーナ(既存)、ペルー&コ
トジボワール(2024~)
66種のプライベートラベル付
商品



バナナ・プロジェクトでの成功事例



バナナ・プロジェクトにおいて、EDEKAとWWFは、より良い・よりサステナブルなバナナ生産を目指すことで、資源・環境・人々を守っている。

- バナナ・プロジェクトは、周辺の生態系と動植物種を保護するために80の対策を実施。
- コロンビア、エクアドル、コスタリカの21か所・計4,000haの農園でプロジェクトを実施。
- コロンビアのウォーター・スチュワードシップ・プラットフォームにおいて、19農園でAWS認証取得。
- 生産地のうち90haが保護区域に。増加傾向。
- 殺虫剤37%減、除草剤不使用、生きものの増加（ナマケモノ、ヘビ、ジャガーネコ等）

プラットフォームは、流域における基礎段階の協力の大きな成功モデルであり、バナナ・プロジェクトの成果である。

Miembros de la Plataforma:

Sector Privado	Organizaciones gubernamentales	Organizaciones de la sociedad civil
Fedepalma ASBAMA	FRI CIENAGA AVANZA	ASOCIACION DE PRODUCTORES HERENCIA AMBIENTAL
AGURO ASOROFRIO ASEOSEVILLA	MUNICIPALIDAD DE SAN PEDRO DE PALMOR MUNICIPALIDAD DE JULIO ZAWADY	AE HERENCIA AMBIENTAL
Tecoaco Fundeban unibon	MUNICIPALIDAD DE SAN PEDRO DE PALMOR MUNICIPALIDAD DE JULIO ZAWADY	FUNDRECUPA
AGROCOM DAABON Fundación BANASAN	AGROSIVA	<p>Junta de acción comuna (JAC) San Pedro - Palmor - Cartajá Julio Zawady - Josefina</p> <p>Representantes de las comunidades-rincones de los ríos Frío y Sevilla</p>
Secretaría Técnica: WWF	con el apoyo técnico de GSI	

- サステナブルな水管理コミュニティとして、世界のロールモデルを担う
- 農業、行政、現地先住民、NGOによる独自のプラットフォーム構成
- 流域におけるコレクティブアクション（協同活動）の実績

Source: <https://storymaps.arcgis.com/stories/22c8706f825e4793bcdfc23bc981cefa>

柑橘類プロジェクトでは、2015年からオレンジ、タンジェリン、クレメンタインの栽培における従来型農業からの転換を実施。

実績：

- 主要な柑橘類栽培地域で6つのサプライヤーから26の生産者がプロジェクトに参加
- スペイン南部の水のホットスポット：コレクティブアクションを通じ、より干ばつに強い農地へ
- 殺虫剤汚染 90%減：年間10,600リットル削減
- 自然にとってより良い機会の創出：農地は、カワウソ、アナグマ、ヒキガエル、フクロウ、その他約160種の脊椎動物の生息地となっている。





AWS・WWFと協力し、スペインでのウォーター・スチュワードシップで得た知見をレポート化



WATER STEWARDSHIP:
UNDERSTANDING THE
AGRICULTURAL LANDSCAPE IN SPAIN

In collaboration with:



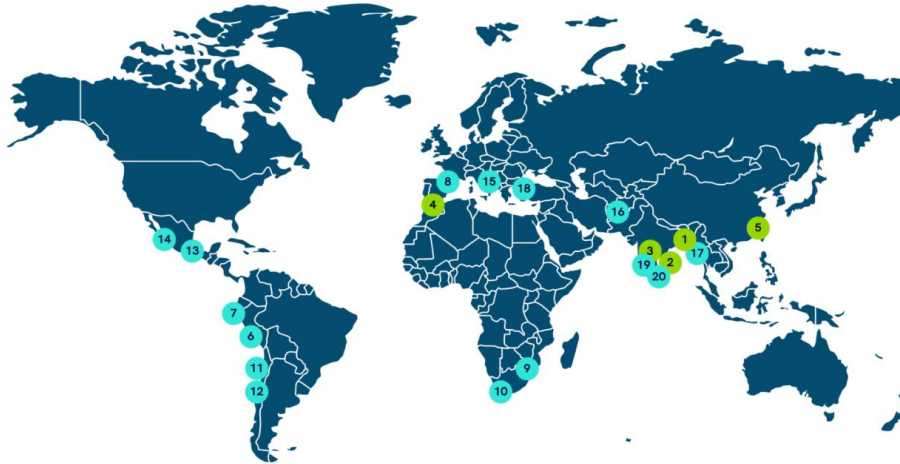
- 当初、農業者たちは、AWSを組み込んだ長期的なビジネスモデルに対し懐疑的だった。
- サプライチェーンや長期的パートナーシップを通じ、生産者に対し短期間のビジネス機会を創出。
- 現地の知見(流域に関連する/状況に基づいた/文化的な視点)に基づいて、ウォーター・スチュワードシップを生産者に提案する必要性。
- AWSの付加価値は、既存の基準やプロジェクトの対策にとどまらない。



EDEKAも参画中：AWSインパクト・アクセラレーター・プログラムの対象地域

AWSインパクト・アクセラレーターは、ウォーター・スチュワードシップのために、複数の拠点(サイト)が協力する、地域ベースのアプローチである。

Locations of active and future AWS Impact Accelerator programmes



実施中:

1. バングラデシュ・ダッカ
▶ Primark, H&M
2. インド・ベンガルール
▶ アストラゼネカ、ユニリーバ
3. インド・チェンナイ
▶ アストラゼネカ、Gap、Primark
4. スペイン・ウエルバ
▶ EDEKA、Kaufland、S Group、Coop Trading、Lucar他
5. 中国・蘇州/上海

検討中:

6. ペルー・イカ
7. ペルー・ピウラ
8. スペイン・ムルシア
9. 南アフリカ・リンボポ
10. 南アフリカ・西ケープ
11. チリ・バルパライソ
12. チリ・サンティアゴ
13. メキシコ・メキシコシラ
14. メキシコ・ハリスコ
15. イタリア・プツリャ
16. パキスタン・カラチ
17. バングラデシュ・ダッカ
18. トルコ・イスタンブール
19. インド・ティルプー
20. インド・コインバートル



Wir  Lebensmittel.

